

令和3年10月12日

都市科学部 YGEP-N1（渡日入試）志願者 各位

横浜国立大学都市科学部

令和4年度都市科学部 YGEP-N1（渡日入試）の実施方法について

現時点では渡日入試の第2段階選抜（面接試験）は、新型コロナウイルスの感染防止に最大限配慮した上で、本学の試験会場において、対面での実施を予定しています。

渡日入試は来日して試験を受験できることが出願の前提であり、新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限により、本学の試験会場での受験が困難な場合は以下の対応とします。

【参考】水際対策に係る新たな措置について（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00209.html

学 科	YGEP-N1（渡日入試）	
	国内在住者	海外在住者
都市社会共生学科	新型コロナウイルスの感染防止に最大限配慮した上で、 <u>本学の試験会場において、対面での実施を</u> 予定しています。	海外在住者で本学試験会場での受験が困難な場合に限り、 <u>自宅等でのオンラインでの受験</u> を認めます。 ※都市社会共生学科では渡日前入試は実施していません。
建築学科		該当者は11月11日（木）までに都市科学部学務係へご相談ください。
都市基盤学科		海外在住者は本学試験会場で受験できない可能性があるため、 <u>渡日前入試への出願を推奨</u> します。
環境リスク共生学科		※渡日・渡日前入試のどちらに出願しても、合否判定上の有利・不利の違いはありません。

なお、今後の感染動向や国内の緊急事態制限等によっては、渡日入試の面接方式を変更する可能性があります。変更する場合は都市科学部ウェブサイト (<https://www.cus.ynu.ac.jp/>) およびメールにて皆さんに速やかに連絡します。

<本件問い合わせ先>

横浜国立大学理工学系都市系支援課
都市科学部学務係

045-339-3124 / cus.jimu@ynu.ac.jp